
総合技術監理部門 アンケート結果概要

2024年9月28日

(公社)日本技術士会 技術士制度検討委員会

総合技術監理部門 アンケートの概要

◆調査方法等

◆実施期間

2022年8月25日(木)～10月24日(月)

◆実施方法

(1)日本技術士会会員には、同報メール(8月25日及び10月11日)を発出し、同メールに記載したURL(会員向けHPの「お知らせ」に掲載)から回答。

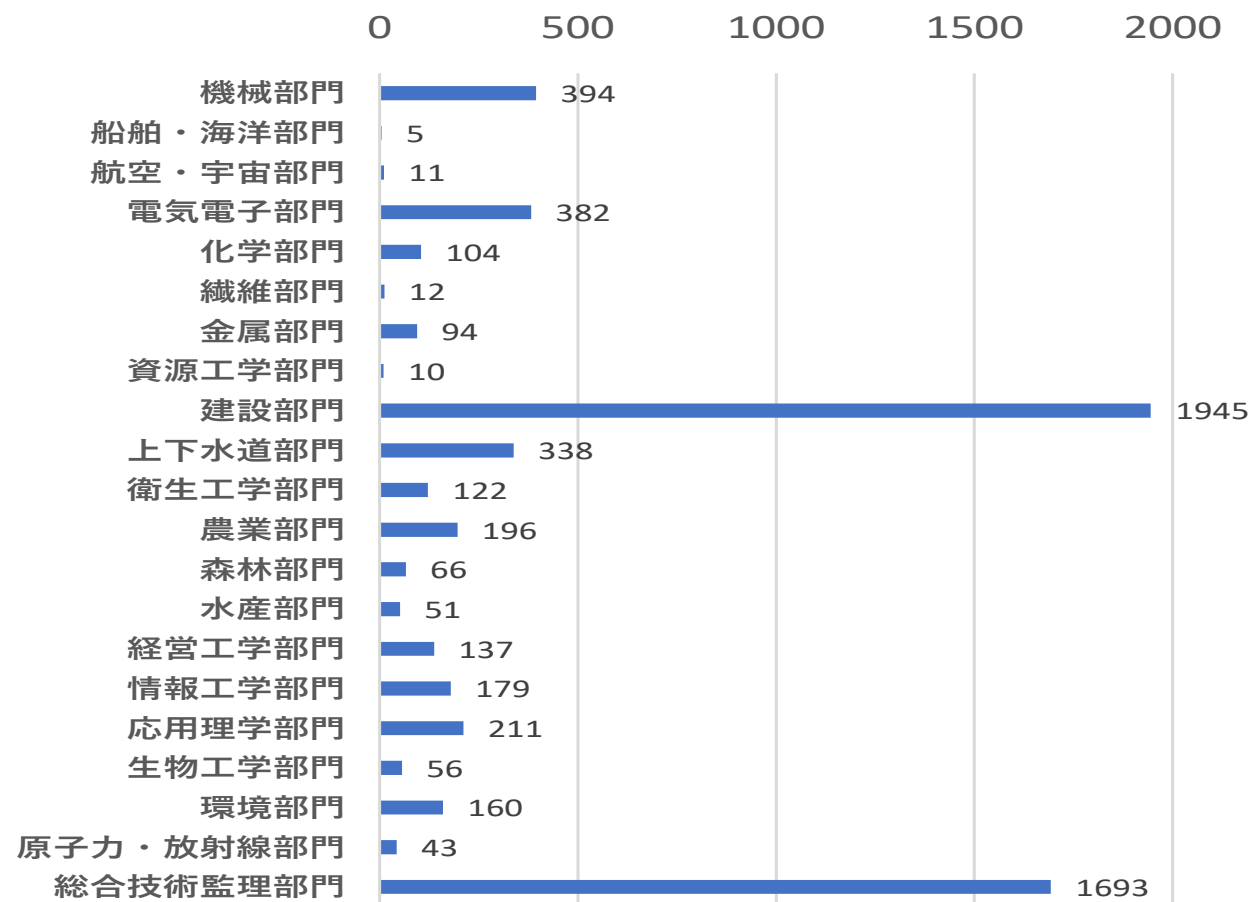
(2)一般の方(日本技術士会会員以外)は、日本技術士会HP(一般向け)の「お知らせ」(最新情報)に掲載したURLから回答。

◆回答数

3,978名(うち会員 3,242名、一般736名。)(注)同一人からの重複回答を除外。

回答者の部門

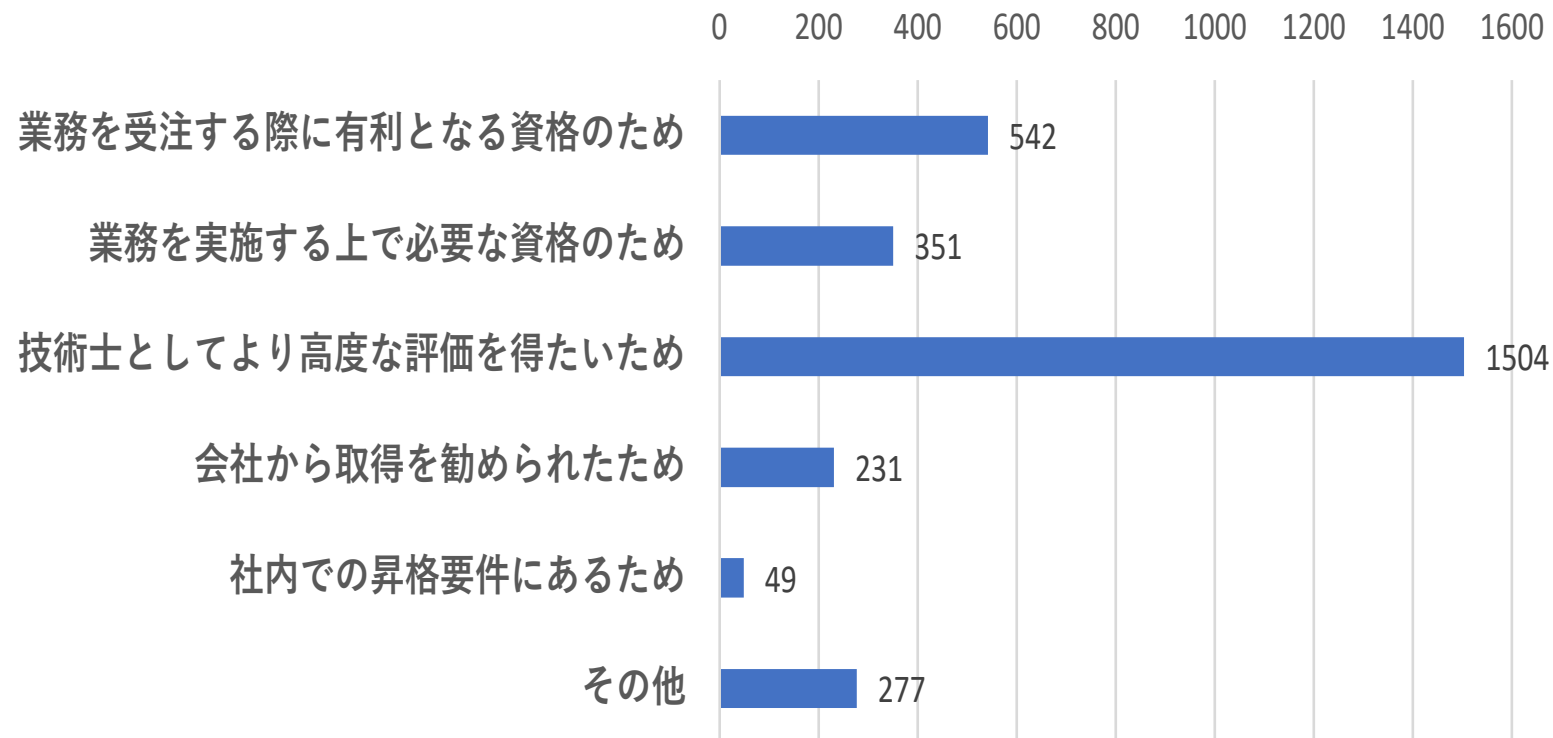
- Q.取得(合格を含む)済みの 技術士の部門をご回答ください。(複数回答可)



回答者数4千人弱のうち、半数が建設部門取得者であり、総監取得者も17百人弱となっている。総監取得者のアンケートへの関心が高いことがうかがえた。

総監を取得した理由

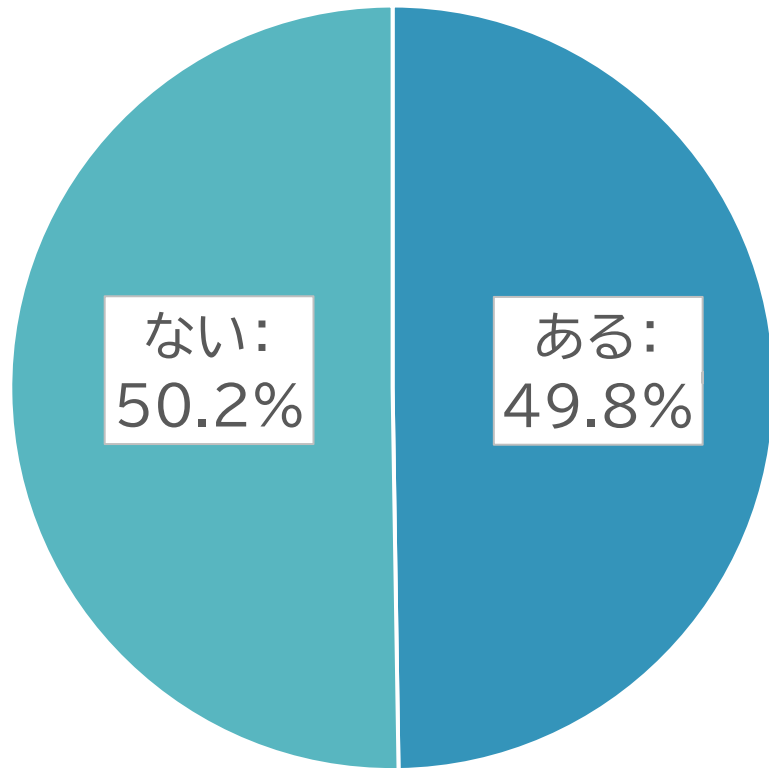
- Q.総監部門の資格を取得した主な理由は何ですか。(複数回答)



本アンケートでは回答者全体の半数を建設部門の技術士が占めるが、業務受注のためではなく、「技術士としてより高度な評価を得たい」が突出して多い。

総監が業務上役に立った経験

- Q.総監が業務上役に立った経験はありますか。



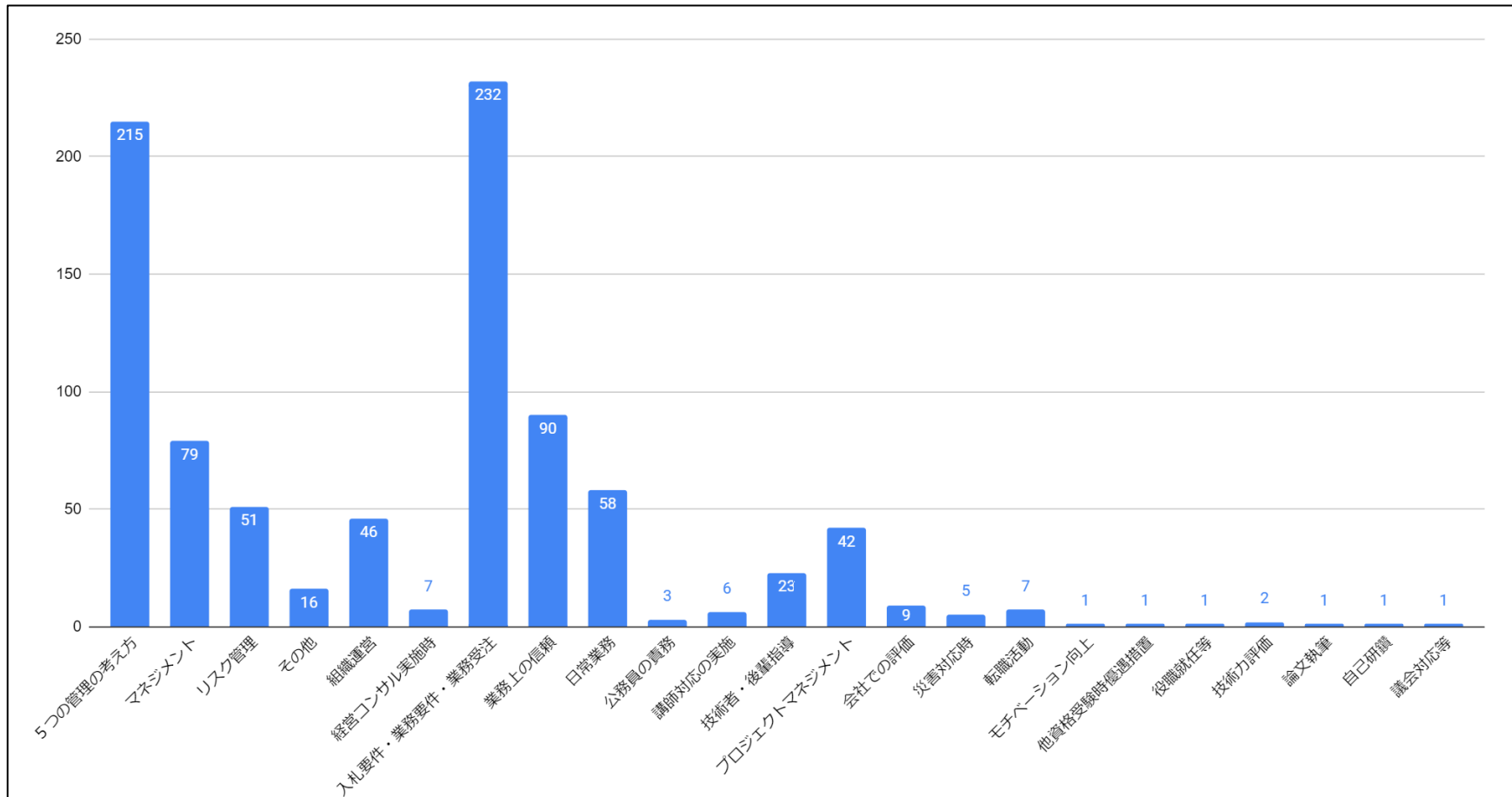
総監が役に立った人とそうでない人が拮抗している。

この差は、回答者属性で「インフラ系／非インフラ系」や、「建設部門／それ以外」で分けて分析しても、有意な差は見られない。

なお、インフラ系は、建設コンサルタントとして国土交通省に部門登録を要する「機械、電気電子、建設、上下水道、衛生工学、農業、森林、水産、応用理学」の9部門のいずれかの総監資格を有す者とした。

総監が業務上役に立った経験(具体例)

- Q.前問で「ある」と回答された方はどのような場合に業務上役に立ったかご記入ください。(自由記述)

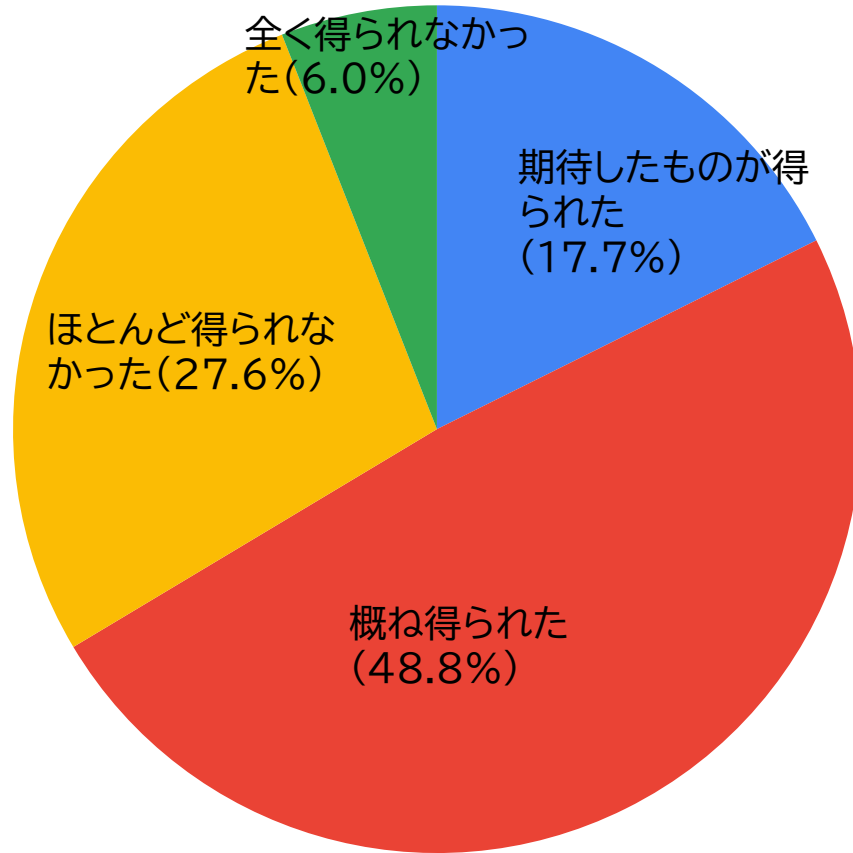


898件の回答があった。

「5つの管理の考え方」「入札要件等」で役立ったと回答した人が突出して多い。

総監を取得して期待したものが得られたか

- Q.総監部門を取得した, その後の感想をお聞きます。

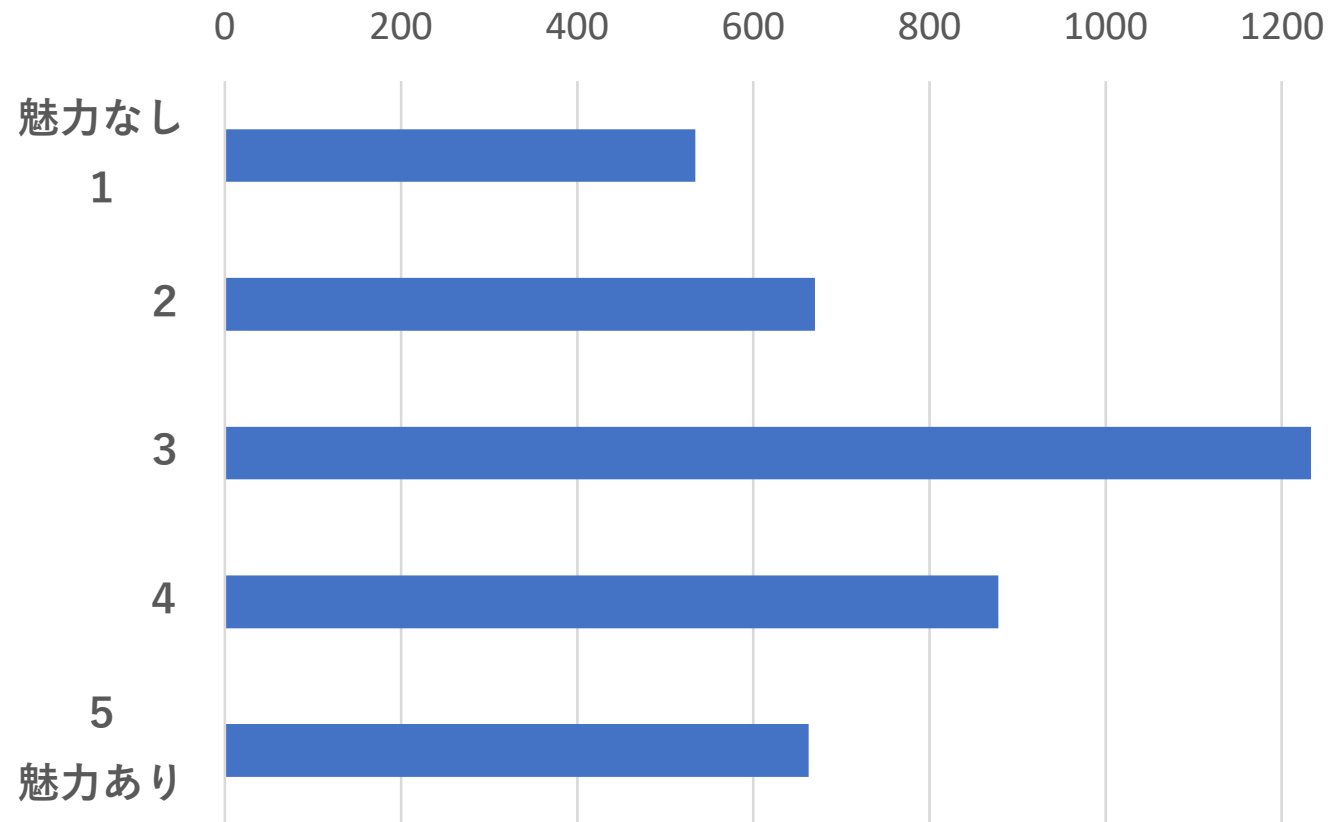


3分の2程度が期待した価値を得ているが, そうでない人が3分の1存在する。

この差は, 回答者属性で「インフラ系／非インフラ系」や, 「建設部門／それ以外」で分けて分析しても, 有意な差は見られない。

総監の魅力

- Q. 総合技術監理部門についてのお考えを伺います。

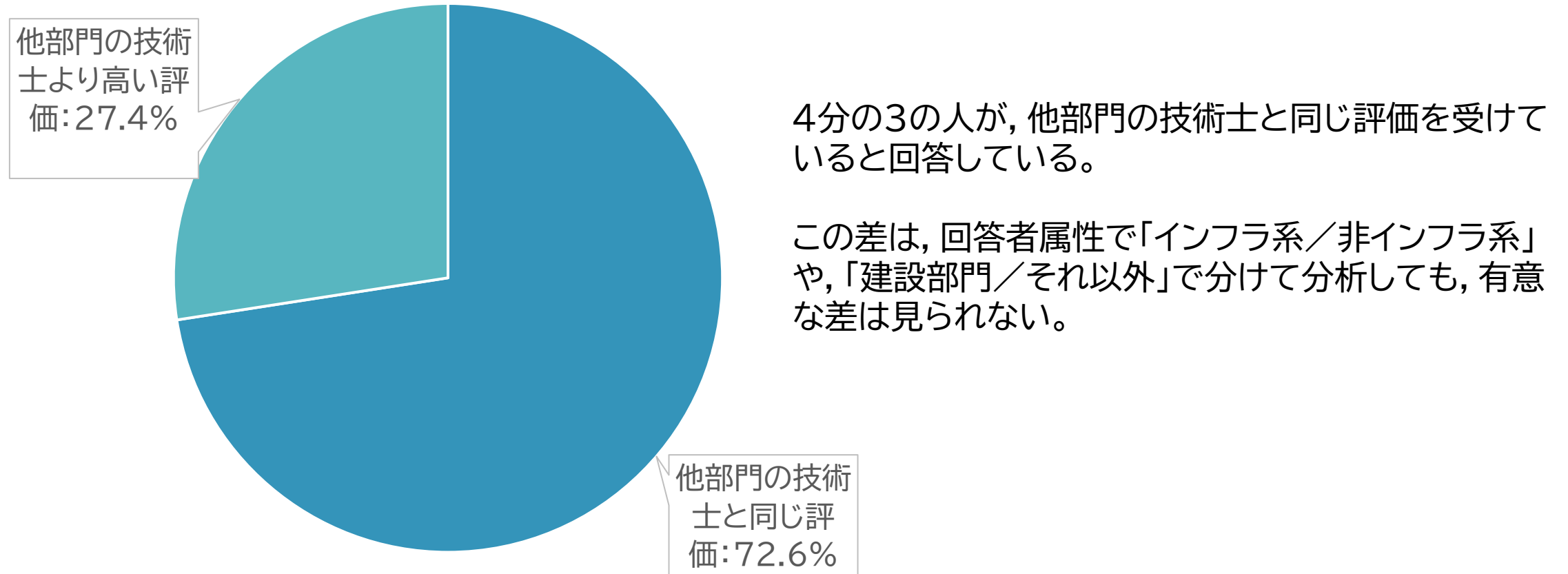


5段階評価ではどちらともいえないという意見が多いが、全体としては「魅力あり」のほうに傾いている。

なお、建設部門の有資格者では、それ以外よりも「魅力なし」(1～2)を選ぶ傾向が高い。

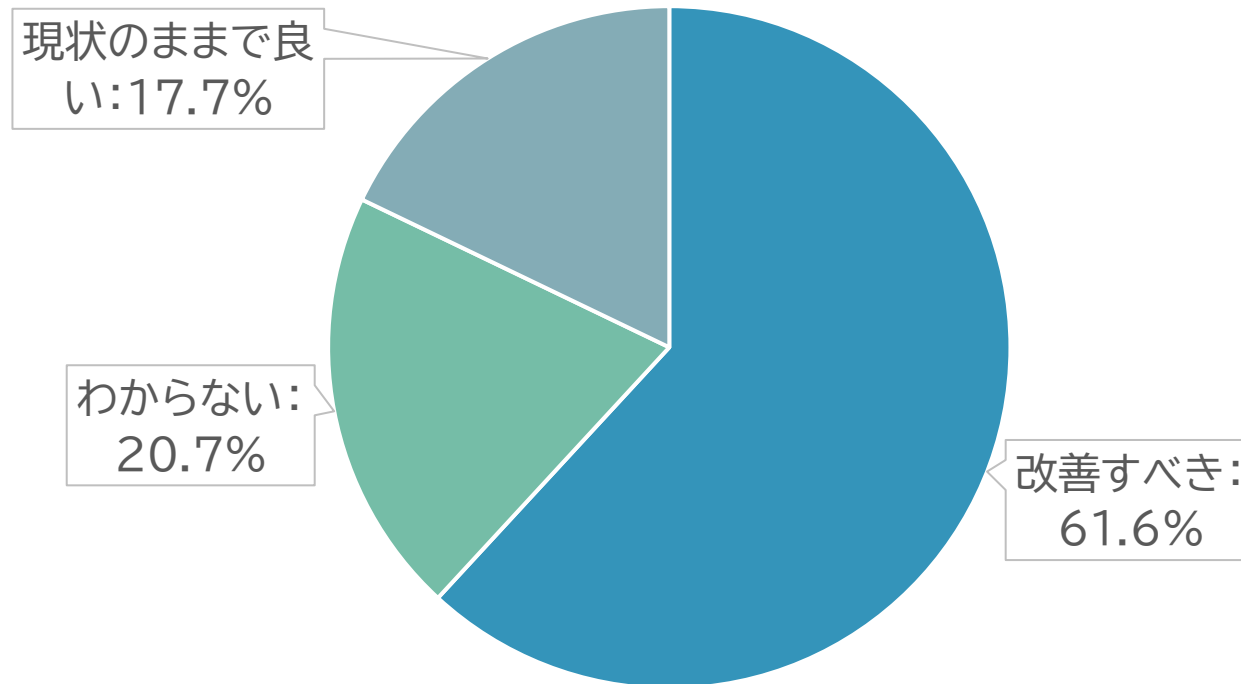
総監の企業内評価

- Q.総監はあなたの組織内(企業内)でどのように評価されていますか。



総監資格の改善の必要性

- Q.総合技術監理部門の技術士資格制度として、改善すべきとお考えですか。



6割の技術士が「改善すべき」と考えている。

なお、建設部門取得者の場合、改善すべきと回答した割合(62%)は、それ以外の部門(72%)よりも低いという傾向がみられた。

総監資格の改善の方向性

- Q.前問で改善すべきと回答された方へお聞きします。該当するものにチェックしてください。(複数回答可)

